

2018年度 東京成徳大学卒業時アンケート結果の概要(福祉心理学科)

教育研究改善委員会、企画・IR室、両学生支援課

I 調査の概要

(1) 目的

東京成徳大学が目指す「学修成果」を本学卒業予定者がどの程度身に付けているか検証する。

(2) 対象

2018年度卒業予定者(12月)

全体	393
日本伝統文化学科	24
国際言語文化学科	24
福祉心理学科	19
臨床心理学科	46
健康・スポーツ心理学科	41
子ども学科	137
経営学科	102

※実施は130名。

(3) 方法

各学科による学内での調査用紙の配布と回収(実施率:98.2%)

(4) 期間

2018年12月3日から2019年1月11日

(5) 回収状況

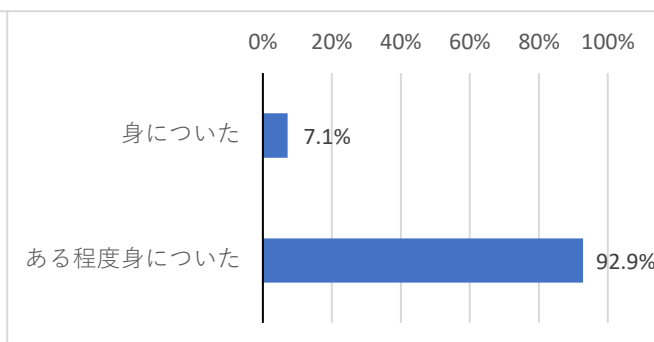
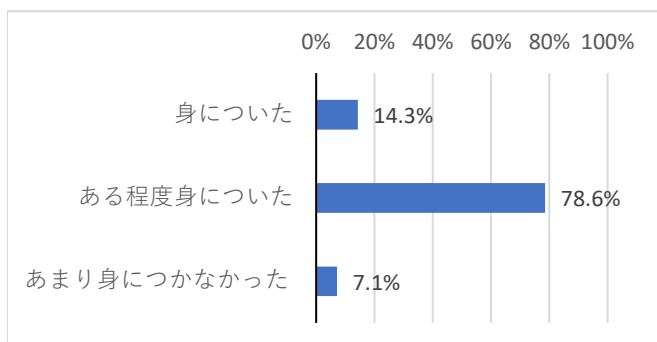
	回収数	回収率	男	女
全体	296	75.3%	99	197
日本伝統文化学科	15	62.5%	7	8
国際言語文化学科	20	83%	2	18
福祉心理学科	14	74%	2	12
臨床心理学科	41	89.1%	21	20
健康・スポーツ心理学科	33	80.5%	23	10
子ども学科	114	83.2%	6	108
経営学科	59	57.8%	38	21

II 各学科のDPの達成度

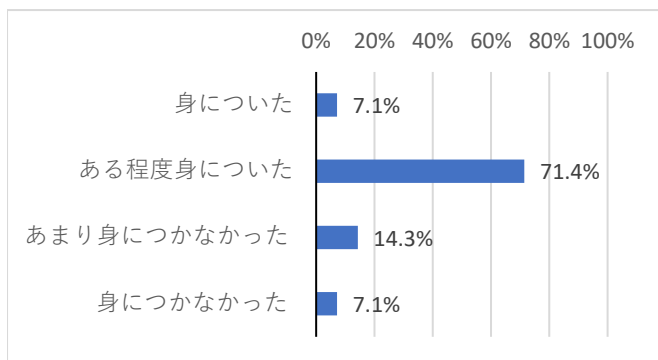
卒業するために学生が身に付けるべき能力や知識、スキル(=ディプロマ・ポリシー)がどの程度身についたと思いますか。

①. 利用者ニーズにそった相談・支援ができるための受容・共感・傾聴の技能を身につける。

②. 援助や支援を必要とする人びとを支援するための社会福祉学、心理学や教育学、医学などの知識、能力を身につける。

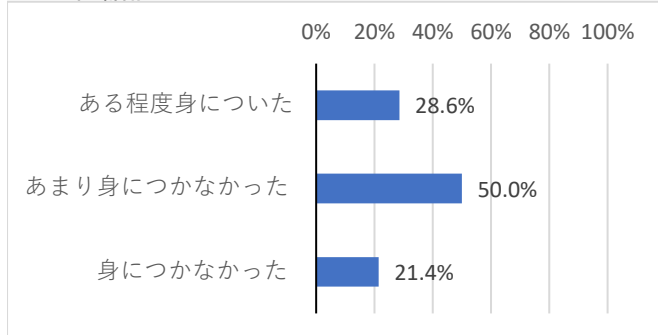


③. ソーシャルワーク、教育(福祉科、特別支援教育)などの実践の場に求められる専門的な知識、能力を身につける。

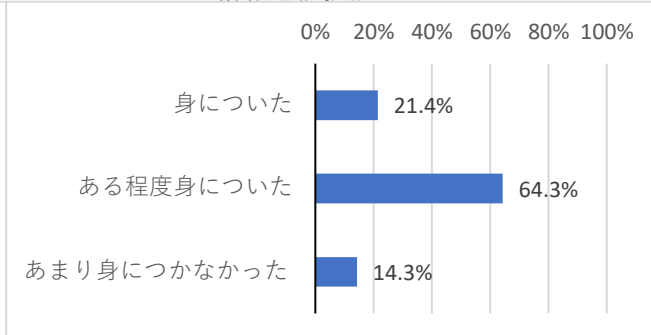


Ⅲ 下記の学修内容はどの程度身につきましたか？

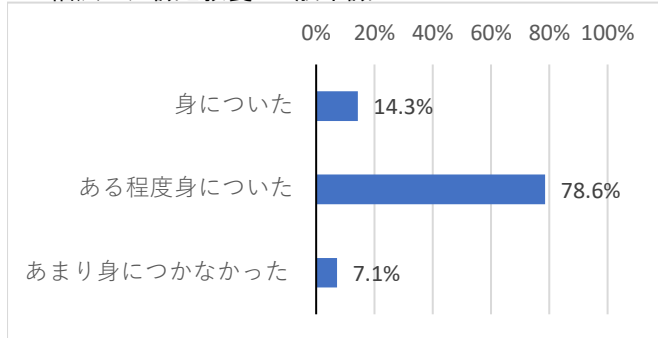
7. 外国語能力



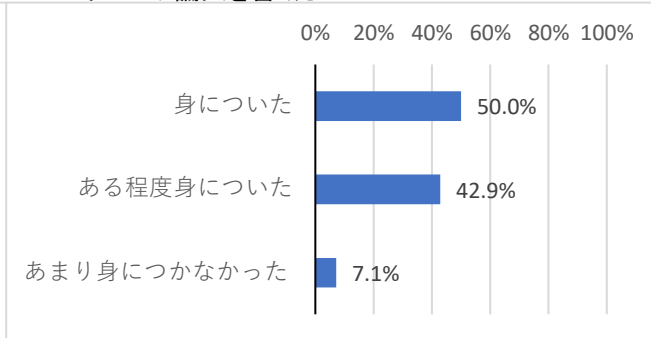
8. ICTリテラシー(情報通信技能)



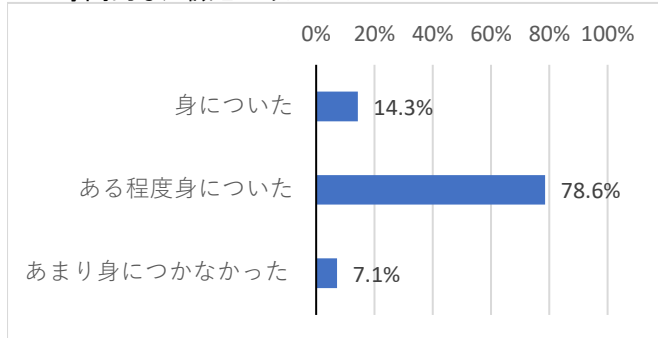
9. 幅広い知識と教養・一般常識



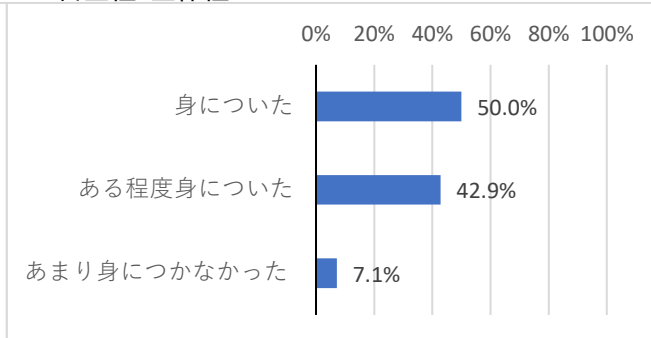
10. レポートや論文を書く力



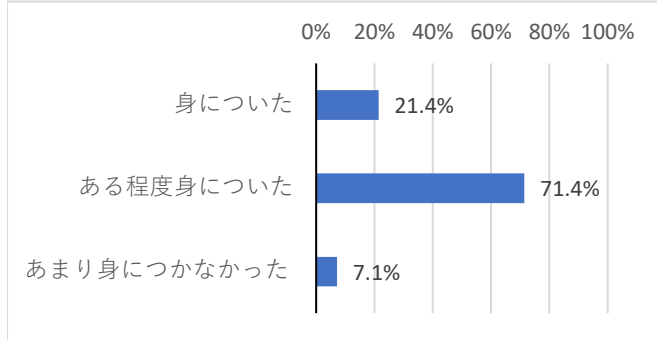
11. 専門的な知識とスキル



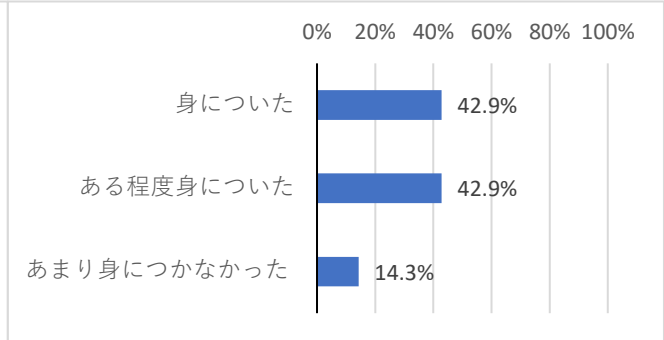
12. 自主性・主体性



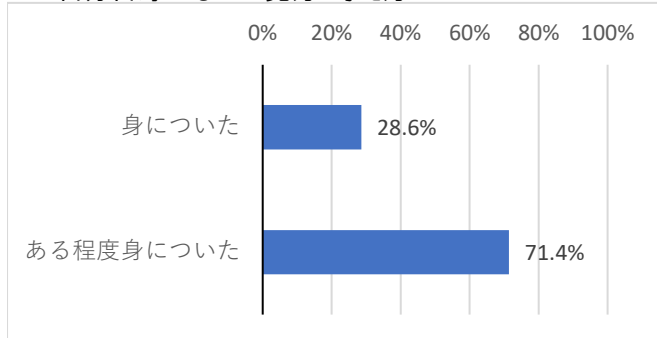
13. 課題発見と解決能力



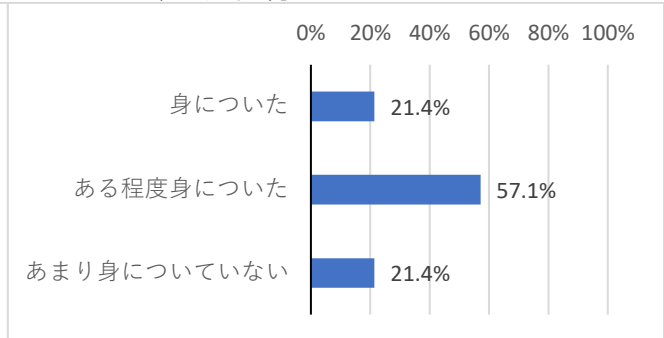
14. 協働性(一緒に取り組む力)



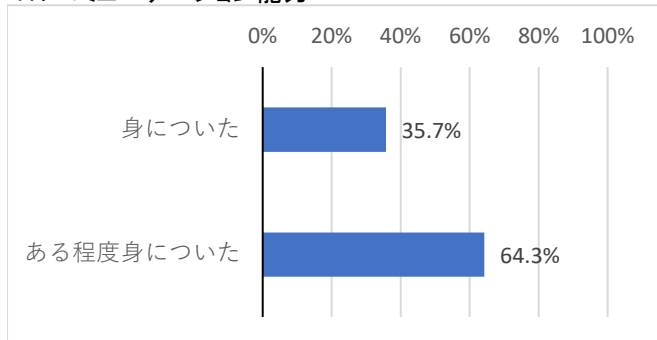
15. 自分自身のものの見方・考え方



16. プレゼンテーション力

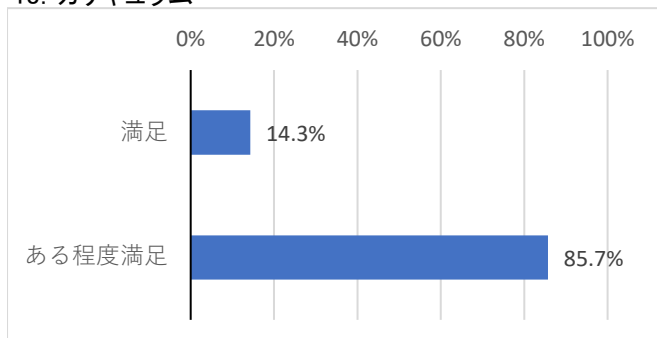


17. コミュニケーション能力

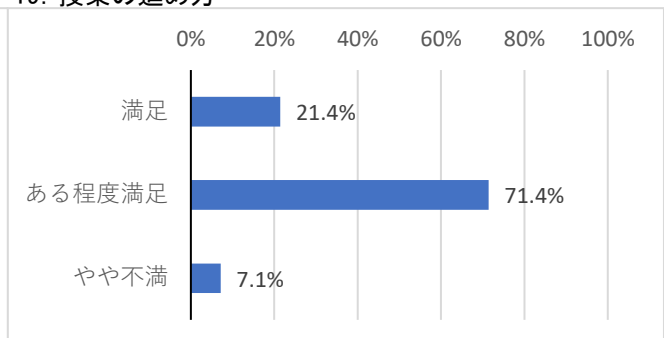


IV 下記の本学の取り組みについて、どの程度満足していますか？

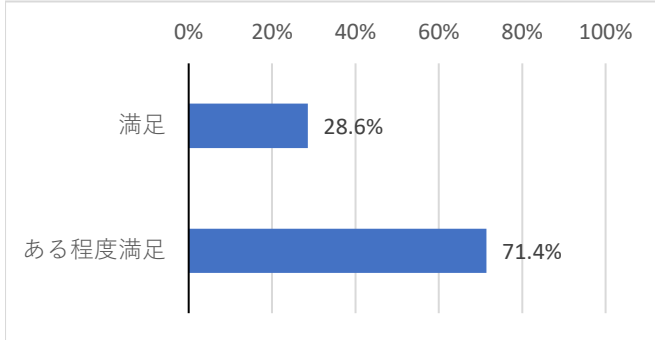
18. カリキュラム



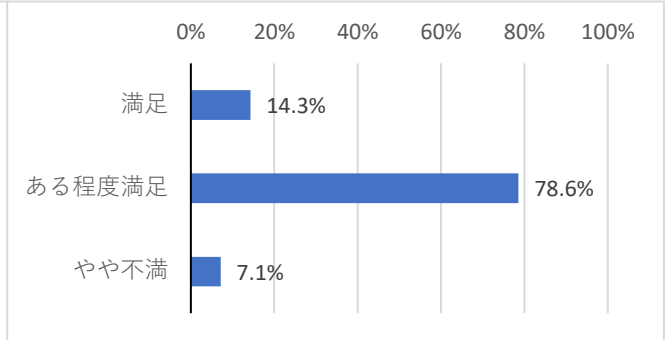
19. 授業の進め方



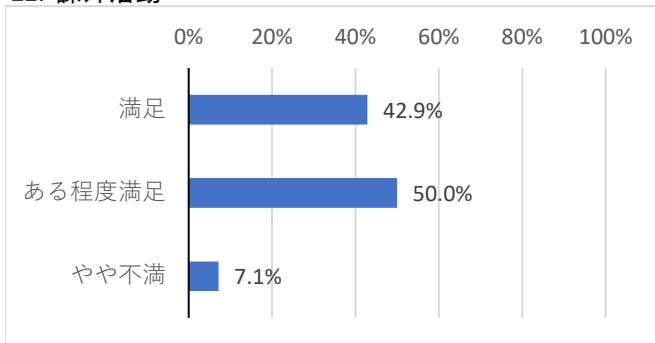
20. 成績評価



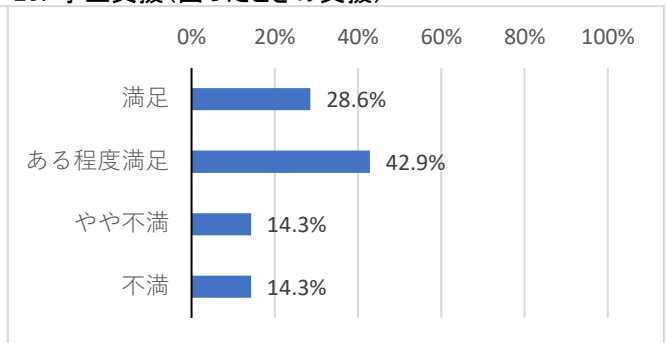
21. 留学制度



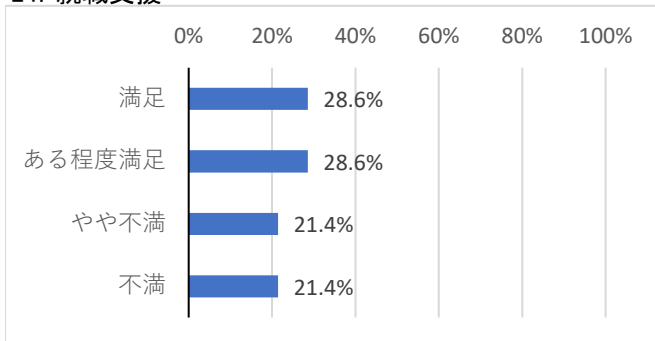
22. 課外活動



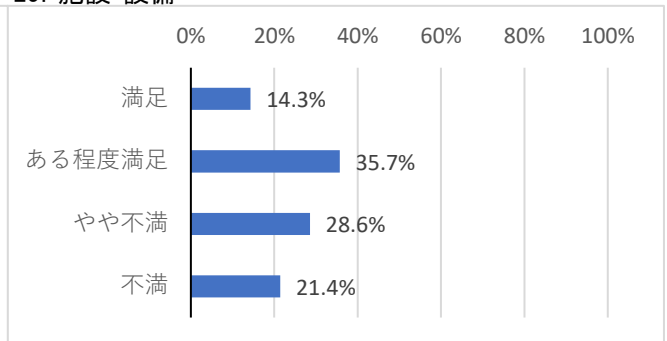
23. 学生支援(困ったときの支援)



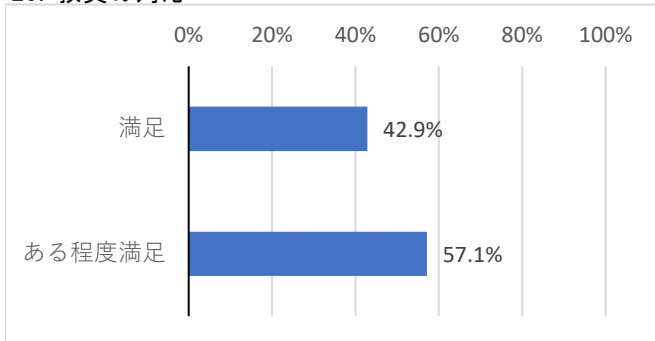
24. 就職支援



25. 施設・設備



26. 教員の対応



27. 職員の対応

